

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 総務課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和5年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた上での令和6年度の進捗状況(目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での令和7年度当初予算に対する考え方	R6年度 予算額	R7年度 予算額	増減
	事業コード	係名	総合評価	説明					
1	防災・減災対策の推進と意識の高揚	総務課	拡充	<p>昨年、災害が頻発しており、地域防災力の強化は、重要度を増しているため、総合防災訓練等、災害を想定した実践的な訓練、また障がい者、高齢者等配慮が必要な方の個別避難計画に基づいた訓練を実施して自主防災組織を強化するとともに、防災士の養成や防災ミニ講座を促進し、人材の育成や住民の自助意識を高めていく。</p>	<p>個別避難計画の策定を進めるとともに、防災ネットワークしすわの協力を得て、向陽高校2年生を対象とした防災教室をはじめ防災ミニ講座を実施した。また、地域防災力強化のため各区に分散備蓄している食糧の補充更新、資機材等の充実、啓発活動に対し補助を行った。</p>	<p>拡充</p> <p>個別避難計画の策定を進めるとともに、防災ミニ講座等を促進する。各区自主防災会における資機材等の拡充に対する補助、防災ネットワークしすわの活動の支援を継続し、地域防災力の強化を図る。また、県・町防災行政無線の年次計画的更新や資材等備蓄の充実を図る。</p>	35,165	62,701	27,536
	02-01-10-05-01・10-01・12-01	情報防災係							
2	電子自治体の推進	総務課	拡充	<p>行政サービスに即した新たなシステムや機器の導入が必要であり、多くの費用を要する事業である。一方で、国、県及び諏訪地域においてIT技術を取入れた行政サービスの推進が加速化しており、県及び諏訪地域6市町村と情報を共有して、共同利用による一層のコスト削減を図るとともに、情報管理を徹底し、情報漏洩等が無いよう、各種システムを維持管理していく。</p>	<p>各種情報システムについては、安全かつ確実な運用がされている。自治体情報システムの標準化・共通化にむけた準備、財務会計システム更改にむけた協議調整を進めている。</p>	<p>拡充</p> <p>各種情報システムを安全かつ確実に運用するとともに、システムの導入や改修については、共同利用によりコストの削減を図る。令和7年度中に移行が求められている自治体情報システムの標準準拠システムへ確実に移行する。</p>	99,735	202,816	103,081
	02-01-12-10-01・12-01・14-01・16-01	情報防災係							
3	出会い・婚活の場の提供	総務課	手法改善	<p>民間委員によるイベント運営は好評を得ているが、令和5年度はイベントを2回企画し、1回は女性の応募が少なく、開催中止となった。もう1回は開催出来たが、女性の応募者が応募締切直前まで催行人数に達していなかった。婚活イベントに応募いただいた方や下諏訪町社会福祉協議会が運営する結婚相談所登録者へアンケート調査を行い、求められる婚活イベントの形を探る。</p>	<p>応募者を増やすため、シンプルな企画内容とし短時間のイベントにするとともに、年齢や居住地の制限を無くし、参加費を男性500円、女性無料とし、応募のハードルを下げたことで、令和6年度はイベントを2回開催することが出来、4組のマッチングが成立した。</p>	<p>手法改善</p> <p>引き続き参加希望者が多くなるようなイベントの企画やマッチング率が上がるよう参加者の交流手法を検討していく。予算は令和6年度と同程度を前提としつつ、適切な開催回数とし、予算を計上する。</p>	361	273	▲ 88
	02-01-06-12-01	企画係							
4	おでかけ町長室事業	総務課	手法改善	<p>事業周知のため、町広報誌への掲載、町内公共施設へのチラシ配架、各種会合等でのチラシ配布等を実施したが、申込件数が伸びなかった。申込団体からは希望するテーマに沿った懇談ができ好評であったため、周知方法を改善しつつ「身近で親しみやすい開かれた行政」の実現に向け事業を継続する。</p>	<p>事業の周知を図るため、チラシ内容の見直しを実施。公共施設へのチラシ配架、前年より1か月前倒しをしてクローズアップへ記事掲載、各種団体への声かけを行ったが、申込みがない状況。</p>	<p>現状維持</p> <p>申込みは低調だが開かれた行政の実現を目指し、広聴機会を確保のため事業は継続して実施する。効果的な周知方法を引き続き検討していく。</p>	27	27	0
	02-01-06-05-01	企画係							

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 総務課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和5年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた上での令和6年度の進捗状況 (目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での 令和7年度当初予算に対する考え方		R6年度 予算額	R7年度 予算額	増減
	事業コード	係名	総合評価	説明						
5	姉妹都市交流事業	総務課	手法改善	新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、対面で開催する交流事業はH31年(R元年)に南知多町にて開催されてから、4年ぶりとなった。期間が開いたこともあり、これまでの経験を活かしづらい中での開催だったため、今後の基準となるような交流事業の実施を検討していく。	8月6～7日で事業を実施した。これまでは小学校側へ周知及び参加申込書のとりまとめをお願いしていたが、今年度は「すぐる」にて周知をし、申込みはLoGoフォームから行ってもらった。抽選も男女や学年等の比率や兄弟姉妹の有無等を考慮して行った。	現状維持	令和6年度は南知多町で交流事業を開催したことから令和7年度は下諏訪町での開催となる。前回下諏訪町で開催された令和5年度と同程度を前提として予算を計上する。	631	489	▲ 142
	02-01-06-40-01	企画係								
6	男女共同参画社会づくりの推進	総務課	手法改善	男女共同参画推進のため、啓発パネル展やセミナーを開催し、広く町民に考える機会を作っているが、地区の委員より「男女共同参画のために何をしたらいいかわからない」との声がある。第7次下諏訪町男女共同参画計画策定に向け、住民アンケートを行い、町民の男女共同参画に関する意識調査を行い、推進策を検討改善する。	町民の男女共同参画に関する意識を調査すべく、住民アンケートを実施した。	拡充	令和6年度に実施した住民アンケートをもとに、町民の男女共同参画に関する意識を把握し、第7次男女共同参画計画を策定するほか、意識改革を推進できるようなセミナーや啓発パネル展を検討していく。	326	611	285
	02-01-06-32-01	企画係								
7	(新)地方創生応援税制寄附金事業	総務課	手法改善	マッチング業者とも協力し、積極的に寄附を受け入れるとともに、寄附してもらえそうな魅力あるまちづくりを推進し、寄附件数の増加をめざす。トップセールスを視野に入れながら、企業に対して町の事業説明等を検討していく。	現状の寄附は1件(100,000円)であり、昨年度と比べ件数は少ない状況である。	現状維持	税制改正により、法人税額の特別控除制度の適用期限が令和7年度から令和9年度までの3年間延長されたため、引き続き、寄附してもらえそうな魅力あるまちづくりを推進していく。予算は令和6年度と同程度を前提とし、郵便料の価格上昇分を考慮しつつ、旅費を最小限とした予算を計上する。	322	294	▲ 28
	02-01-06-48-01	企画係								
8	デジタル化の推進	総務課	手法改善	下諏訪町DX推進計画に掲げた施策に加え、住民サービスの向上及び行政事務の効率化を実現するための施策を実施する。また、デジタル推進委員会において、行政手続オンライン化調査を実施し、結果に基づきオンライン化を促進する。令和5年度には、国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用し、キャッシュレス決済導入事業を実施した。	令和6年度開催のデジタル推進委員会において実施した、行政手続続きオンライン調査の結果を踏まえ、オンライン化が可能な手続きについてはオンライン化を検討している。また、令和6年度の長野県の共同調達を活用し、入札に関する手続きのオンライン化を予定している。	拡充	長野県の共同調達を活用し、行政手続続きオンライン化のための環境は整備、運用されているが、県利用料の変更等による予算措置を行いたい。	9,015	10,285	1,270
	02-01-13-05-01	デジタル推進室								

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 総務課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和5年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた上での令和6年度の進捗状況 (目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での 令和7年度当初予算に対する考え方	R6年度 予算額	R7年度 予算額	増減
	事業コード	係名	総合評価	説明					
9	(新)町制施行130周年記念式典事業	総務課	廃止	記念式典は単年度事業のため廃止する。	/	/	/	/	0
	02-01-06-42-01	企画係							
10	(新)国土利用計画の策定	総務課	廃止	令和5年度中に計画の策定、計画書の印刷、関係各所への計画書の配布が予定どおり終了したため、事業廃止。今後は総合計画等関係する計画の策定に当たり活用し、整合性を図っていく。	/	/	/	/	0
	02-01-06-24-01	企画係							
11	デジタル化の推進((新)窓口キャッシュレス決済導入事業)	総務課	廃止	該当する各窓口へのキャッシュレス決済システムの導入が完了し、正常に運用がなされているため。	/	/	/	/	0
	02-01-13-05-01	デジタル推進室							

〈令和5年度事務事業評価シートから転記〉

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 税 務 課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和5年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた上での令和6年度の進捗状況 (目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での 令和7年度当初予算に対する考え方		R6年度 予算額	R7年度 予算額	増 減
	事業コード	係名	総合評価	説明						
1	(新)オリジナルナンバープレート作成事業	税務課	廃止	オリジナルナンバープレートの交付は継続して実施するが、新規作成のための事業は令和5年度をもって完了した。						0
	02-02-02-10-01	収納係								
										0
										0
										0

〈令和5年度事務事業評価シートから転記〉

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 住民環境課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和5年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた上での令和6年度の進捗状況 (目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での 令和7年度当初予算に対する考え方		R6年度 予算額	R7年度 予算額	増減
	事業コード	係名	総合評価	説明						
1	個人番号関連事業	住民環境課	拡充	保険証などのマイナンバーカードの利活用は今後も幅広く行われるため、引き続きマイナンバーカードの申請される方には丁寧な説明対応をしていく。	紙の保険証廃止に伴う、保険証としてのマイナンバーカード申請及びマイナポイント時にカードを作成した方の電子証明書の更新が増えており、平日・休日窓口等に対応している。	拡充	マイナンバーカード交付・更新事務に係る機器更改年度となるため予算の増額となる。 引き続き、マイナンバーカードの申請の他、マイナンバーカードに搭載されている「電子証明書」の更新手続きを進めていく。	10,266	14,852	4,586
	02-03-01-14-01	総合窓口係								
2	地球温暖化対策事業	住民環境課	拡充	本格的にゼロカーボン事業を取り組み、ハード面では補助金の創設、ソフト面ではゼロカーボン宣言を行い、住民への周知活動を行った。今後も地球温暖化対策実行計画の実践を町民、事業者、行政が一体となって取り組むことにより、ゼロカーボンのまちを目指す。	省エネ推進では町立図書館駐車場にEV充電設備を導入し、創エネ推進では文化センター屋根への太陽光発電設備設置のための調査を実施した。昨年に引き続き温泉熱活用会議を開催し、資源の有効活用を模索している。不要なプラスチックを減らすため、マイボトルやマイバッグを持ち歩く取り組みとしてデコ活を推進している。	縮小	創エネ推進のため、文化センター屋根に太陽光発電設備をPPA方式で設置するほか、災害対策の蓄電池、省エネ推進のLED設備の設置を実施したい。また、デコ活を推進し、プラスチック類資源化や諏訪湖周3市町で共同実施するデコツーリズム事業費を予算計上するが、令和6年度程の予算規模とならないことから縮小を見込んでいる。	6,332	5,209	▲ 1,123
	04-01-07-16-01	生活環境係 (R6年度～ 環境衛生係)								
3	高齢者の保健・介護一体的実施事業の運営	住民環境課	手法改善	後期高齢者被保険者数は今後増加する見込みであり、国民健康保険から引き続きいた保健事業へのニーズは高くなっている。健診受診後は個別のフォローとしての訪問に加え、結果説明会や健康教室を実施する。フォローアップを手厚くすることが健診受診率の向上に寄与すると考えられる。	血圧をテーマにした健診結果説明会と個別相談会を実施。I度以上高血圧者かつ80歳未満の方に通知を送付して参加を促し、国保から後期高齢者医療保険に異動した後も保健事業に参加できるようにしている。その他訪問対象者を抽出し、下半期で訪問を実施予定。	手法改善	後期高齢者健診結果より、医療機関受診が必要な方を抽出し、受診勧奨を実施する。また、健診を受診した方のフォローアップをよりきめ細かく実施することで、健診受診率向上や次年度の継続受診につなげる。	2,541	2,479	▲ 62
	04-01-01-14-01	国保年金係								

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 住民環境課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和5年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた上での令和6年度の進捗状況(目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での令和7年度当初予算に対する考え方		R6年度 予算額	R7年度 予算額	増減
	事業コード	係名	総合評価	説明						
4	環境の保全	住民環境課	手法改善	環境基本計画に基づき、諸施策を実施している。環境保全活動の一部は、美化活動など繰り返しの作業だが、関係機関や住民と共に継続して実施していくことが重要である。また、近年はヒシや外来動植物に加えて、海洋プラスチックごみの原因となる河川のごみも大きな問題となっており、これら諸問題を関係機関や住民と共に解決していく。	湖浄連と連携し、不要なプラスチックを減らすため、ポイ捨てをしない呼びかけやごみを拾う活動を実施している。また、海洋プラスチックごみ問題として、小学生を対象とした環境学習も実施している。	現状維持	湖浄連による定期的な清掃活動など環境保全に積極的に取り組み、引き続き、町との民公協働で事業を実施していく。	477	437	▲ 40
	04-01-07-05-01	生活環境係 (R6年度～ 環境衛生係)								
5	狂犬病予防対策事業	住民環境課	手法改善	市町村長は、狂犬病予防法により、犬の登録管理や狂犬病予防注射を受けた飼い主に注射済票を交付しなければならないとされているので、引き続き事業として接種率100%を目指す必要がある。諏訪獣医師会と連携して、未注射の飼い主を対象に電話にて注射接種の勧奨を行う。	接種率 R5 76.2% R6 68.3% (10月末) 動物病院での接種後に町に注射済票を提出する手続きが手間がかかるとの意見を飼い主からいただいているため、諏訪獣医師会との契約により、一部の動物病院での新規登録と注射済票交付手続きを令和7年度からの実施に向けて準備を進めている。	拡充	動物病院への啓発チラシの配布などを呼びかけ、諏訪獣医師会と協力し、接種率の向上を図る。新規登録のオンライン導入に向けて研究を行い、飼い主の負担軽減を図る。	240	355	115
	04-01-07-14-01	生活環境係 (R6年度～ 環境衛生係)								
6	生ごみリサイクル事業	住民環境課	手法改善	循環型社会の構築をめざし、生ごみリサイクル事業を民公協働事業として実施している。今後も生ごみリサイクル推進委員会と協力し、事業を着実に継続していくとともに、事業参加世帯が増えるよう事業のPRを進めていく。堆肥還元の内容やゼロカーボンサポーターの協力をさらに強化する。	平成17年に開始した生ごみリサイクル事業は令和7年で20年を迎える。同時に発足した推進委員会も民公協働で生ごみ収集行っている。加入者増の取り組みとして堆肥以外の参加特典を考えていく。加入率 R6 18.76% R7目標 20%	手法改善	20年目の節目の年として、推進委員会による積極的な事業の見直しを図るとともに、生ごみ処理の費用が増加傾向のため、当事業のほかにも効率よい取り組みを検討していく。	11,770	11,471	▲ 299
	04-02-02-16-01	生活環境係 (R6年度～ 環境衛生係)								
7	清掃センターの管理	住民環境課	手法改善	平成29年度にストックヤード等を新設し、中間処理施設として整備された。施設自体が老朽化しているため適宜修繕等を行いながら、維持・管理に努める。より多くの町民に利用していただけるよう全戸配布等で周知を行ったが、町民の持込件数は目標数を達成することができなかった。今後も多くの方に利用してもらえるよう、周知を図っていく。	不要なプラスチックを減らすため、適切に管理を行う。プラスチック類資源化にあわせて、ごみ分別ガイドブックを改定。同時に清掃センターの利用方法をわかりやすいものに変更予定。	現状維持	清掃センター利用者の増加を目指し、ガイドブックを活用して周知啓発を行う。	17,451	18,993	1,542
	04-02-02-18-01	生活環境係 (R6年度～ 環境衛生係)								

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 住民環境課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和5年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた上での令和6年度の進捗状況(目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での令和7年度当初予算に対する考え方		R6年度予算額	R7年度予算額	増減
	事業コード	係名	総合評価	説明						
8	資源物等の処理	住民環境課	手法改善	人口減少を見込んだ「ごみ処理基本計画」に基づき目標値を設定している。駅東リサイクルステーションの活用によりごみの分別が進んでいるが、引き続き資源物を含めた廃棄物の発生を抑制する意識の向上のための広報、周知を行うとともに、プラ類資源化の実施に向けて準備を進める。	不要なプラスチックを減らすため適切に処分を行っている。プラスチック類資源化のモデル事業を実施し、令和7年度からの実施に向け、住民説明会などを開催。ごみ分別アプリ「さんあ〜る」での周知もしている。	拡充	プラスチック類資源化を開始する。引き続き、廃棄物の発生抑制のため周知を行う。イオン諏訪店の新店舗開店に向けて駅東リサイクルステーションの運営方針を検討する。	103,868	105,316	1,448
	04-02-02-10-01	生活環境係(R6年度～環境衛生係)								
9	更生保護活動の支援	住民環境課	手法改善	犯罪を犯した人の更生は、公にできない部分が多いが、少しでも多くの町民に理解していただく啓発活動が必要である。また、地域での取組が重要であるため、町も積極的に活動を支援していく必要がある。	保護司会、更生保護女性会の活動は例年通り実施している。主には「社会を明るくする運動」の一環として、標語の募集や作文の募集を行っている。例年同様役員が各学校を訪問し趣旨の説明と提出のお願いを行った。作文の提出数が減ってきている現状もあるため、子どもたちの理解が得られるようヒントとなるチラシも添付し依頼した。	手法改善	まずは子どもたちに社会を明るくすることに対する関心を持ってもらうことが重要で、大切な事業と考えるので、引き続き啓発活動を実施していく。	252	252	0
	02-01-09-05-01	生活環境係(R6年度～生活相談係)								
10	交通災害共済事業	住民環境課	手法改善	交通災害を被った方の生活安定に寄与する“相互扶助制度”であることをご理解いただけるよう、一層の周知を行い、会員数の維持に努めていく。また、町内会未加入者、転入者を対象にしたインターネットでの申し込み、オンライン決済の導入を目指し、関係者と調整を図る。	町内会未加入者や転入者に向けたインターネットからの申し込み等を始めたところであるが、若者を中心に加入者が増え始めている。子どもの安全安心の一環にもなり得るので子どもたちの加入を促進し保護者にも加入してもらえよう呼びかけを行う。	手法改善	加入者の増加のために、周知方法を紙ベースやインターネットをより活用し、募集時期にはメール配信や新聞等の媒体を活用し加入者増を図っていく。	14,000	14,800	800
	交通災害共済事業特別会計	生活環境係(R6年度～生活相談係)								
11	循環バスの運行	住民環境課	手法改善	「あざみ号」では、地域公共交通計画の策定に向けた法定協議会を立ち上げ、下諏訪町内の公共交通全般の課題の洗い出しを行い、次年度の計画策定に向けた準備を実施した。「スワンバス」では、スマホ乗車券を導入し、利用者の利便性向上を行った。	地域公共交通協議において、地域公共交通計画の策定を進めている。より下諏訪町に合った交通体系ができるよう、利用者の意見も聞きながら完成を目指し、持続可能な公共交通を目指していく。	手法改善	地域公共交通計画による推進を検証しつつ、新たな交通手段の模索や検討を進めていく。	43,982	44,285	303
	02-01-09-10-01	生活環境係(R6年度～生活相談係)								

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 住民環境課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和5年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた上での令和6年度の進捗状況 (目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での 令和7年度当初予算に対する考え方	R6年度 予算額	R7年度 予算額	増減	
	事業コード	係名	総合評価	説明						
12	消費者団体の育成と消費生活の知識普及	住民環境課	手法改善	全町民が安心・安全な消費生活を送るため、必要な知識の普及をするための各事業を実施する必要がある。万が一生じたトラブルについては、県消費生活センターや近隣市町村、警察等と連携を図り、被害者の救済に努める。電話機の設置補助は令和7年度までの時限措置のため、クローズアップしもしすわ掲載等により制度周知と同時に早めの申請を促す。	特殊詐欺等防止機器購入補助金を導入しているところであるが、補助の申請件数が減ってきているところ、詐欺的な電話がかかってくる事案がまた増加している傾向もある。消費者の会とも連携し、被害防止に役立つ講演会を開催する。	手法改善	特殊詐欺等防止機器購入補助金の制度は令和7年度で終了となるため、その前に再度周知をし、安心安全な社会となることに寄与する。携帯電話等には装置が付いていないので紙ベースやメール配信等により周知を図っていく。	563	451	▲ 112
	02-01-07-05-01	生活環境係 (R6年度～生活相談係)								
13	移動販売事業	住民環境課	手法改善	各場所での移動販売は、買い物弱者に対する支援の一環となるとともに、利用者同士の地域コミュニティの場としての機能も果たしている。引き続き、利用者の声や要望を聞きながら、さらに充実した事業となるよう努めていく。利用者数が伸び悩んでいるため、販売場所等の見直しを図る。	利用者からの要望や苦情等を聞き取りし、よりよく皆さまにご利用していただく環境の整備を行っている。多数のご意見は便利である事や継続を望む声が多いのでこの事業も定着してきている感じがある。	手法改善	引き続きご意見を伺いながら現状を維持し継続する事を考えている。新店舗ができて買い物をしたという意見も多いことから、改善もしながら継続していく。	5,144	5,313	169
	02-01-09-22-01	生活環境係 (R6年度～生活相談係)								

〈令和5年度事務事業評価シートから転記〉

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 保健福祉課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和5年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた上での令和6年度の進捗状況(目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での令和7年度当初予算に対する考え方		R6年度予算額	R7年度予算額	増減
	事業コード	係名	総合評価	説明						
1	相談支援包括化推進事業 多機関協働事業 (重層的支援体制整備事業)	保健福祉課	拡充	介護、障がい、子ども・子育て、生活困窮の相談支援や地域づくり等の取組を活かしつつ、地域の幅広い支援関係機関の連携のもと、属性を問わない相談支援、多様な社会参加に向けた支援、地域づくり支援を一体的に実施することが求められており、引続き実施していくことが重要である。令和6年度から重層的支援体制整備事業の多機関協働事業等に移行する。	令和6年度から国の重層的支援体制整備事業に移行し、多機関協働事業、アウトリーチ事業、参加支援事業を実施している。社協より福祉専門員を派遣し、介護、障がい、子ども・子育て、生活困窮の相談支援や地域づくり等の取組を活かしつつ、庁内連携の強化や困難事例の多機関多職種による重層的支援会議を開催し課題の共有と解決に向けて支援方針などを協議している。	拡充	引き続き庁内連携や多機関多職種の連携により、8050問題や生活困窮者などが抱えている問題に対応していく。また、重層的支援体制整備事業のメニューが拡大していくなかで、町の新規・既存事業の国庫補助対象事業の洗い出しも急務と考えている。	10,104	12,021	1,917
	03-01-01-18-01	福祉係								
2	包括的支援事業	保健福祉課	拡充	高齢化率の上昇と共に支援内容が多様化してきており、相談援助や権利擁護などに加え、生活支援や認知症施策などの事業を適切に組み合わせながら総合的かつ継続的な支援を行っていく必要がある。町の高齢者福祉計画策定のための高齢者実態調査に寄せられた町内高齢者の意見等を参考に、各種施策の推進に取り組むたい。	認知症初期集中支援チームの活動により認知症高齢者の早期発掘と社会資源につなげることができている。認知症支援協議会においては民間事業所を巻き込んだ仕組みの在り方を検討しており、今後の認知症高齢者の地域での見守りに関する理解普及に取り組んでいる。今後においては役場職員を対象とした認知症サポーター養成講座に試験的ではあるが新たにグループワークを組み込み、ロールプレイング研修を組み合わせた講座の開催やサポーターの講師役となる認知症キャラバンメイト養成研修への参加を予定している。	拡充	高齢者福祉計画に掲げる地域包括ケアシステムの深化に加え、認知症初期集中支援チームにおける業務量及び困難案件等の協議を行う地域ケア会議の対象者が増加傾向にあるため事業費の拡大は避けられない。認知症に起因するものだけでなく、複雑困難化する高齢者支援ケースを適切に支援するための体制構築が必要になる。	28,056	31,191	3,135
	03-01-04-14-01	高齢者係								
3	母子保健事業	保健福祉課	拡充	妊娠出産包括支援事業の国庫補助を活用し、産後ケア、産前産後サポート、産婦健診事業の実施により、妊娠、出産、育児を切れ目なく支援できる体制の充実を図っており、より一層の相談支援の充実が必要。令和6年度は、産後ケア事業助成金額の増額、通所型の実施及び里帰り出産の方への償還払い等を行い、育児不安及び経済的負担の軽減に取り組む。	産後ケア事業では、助成券を6枚から12枚(1枚1,000円)に増額し交付、通所型の実施、里帰り出産の方への償還払いが実施できる体制とできている。	拡充	産後ケア事業の充実を図るほか、国が実施を求めている1か月児健診の予算を計上する。また、職種別報酬額の変更に伴い、乳幼児健診に従事する会計年度任用職員の報酬が増額となる。	19,635	20,456	821
	04-01-02-10-01	保健予防係								

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 保健福祉課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和5年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた上での令和6年度の進捗状況(目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での令和7年度当初予算に対する考え方		R6年度 予算額	R7年度 予算額	増減
	事業コード	係名	総合評価	説明						
4	疾病の予防	保健福祉課	拡充	町内外の医療機関での個別接種により、接種可能月齢から、かかりつけ医のもと安心・安全に予防接種が受けられる体制が整えられている。引き続き、健診の機会や接種勧奨通知等とおして、接種率維持に努めていく。令和6年度からは新型コロナワクチンが定期接種化されるため、予算を拡充して対応する。	HPVワクチンキャッチアップ接種(積極的勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方が対象)の最終年度のため、駆け込みで接種を希望される方が多い。10月15日から高齢者のインフルエンザ予防接種と新型コロナウイルス感染症予防接種がスタートし、自己負担の免除申請を受付けているが、例年よりも多い状況。	拡充	風疹に係る公的接種を受ける機会がなかった男性が対象の抗体検査は終了するが、HPVワクチンのキャッチアップ接種期間の延長や帯状疱疹ワクチンの定期接種化が決定したことから増額となる。	88,875	97,762	8,887
	04-01-04-10-01	保健予防係								
5	一般介護予防事業	保健福祉課	手法改善	アフターコロナを迎え、年間を通じて教室の全てを実開催とすることができた。定員割れの教室も発生したため、継続して参加し取り組めるメニューについて検討していく必要がある。参加者アンケート等を基に今後における教室の運動強度や内容の見直しを行いながら、介護予防事業の充実化を図る。	一般介護予防教室は、長年の取り組みにより定着した一方で、自身の身体状態のイメージと実情が乖離した方や予防の範疇を超えた方が引き続き予防教室に参加していることもあるため、より適切な事業となるよう教室内容や強度等の見直しが必要になっている。また年明けを目的にオーラルフレイルと認知症の両者の予防を目的とした事業を予定している。介護予防事業をメインにしながら、新たな地域資源や人材の養成といった副産物につなげたい。	拡充	一般介護予防教室は、当町に定着した事業であり、介護予防だけでなく、フレイル状態の方等のスクリーニング的な役割を果たすことができていることから事業の継続は必須である。教室によっては固定参加者がいる一方で、自身のイメージとの相違から教室の強度についていけなかったり、予防の範疇を超えた方などもあるため、予防に相当する適切な対象者が利用できるよう運動強度や内容の見直しをしていきたい。	25,759	26,592	833
	03-01-04-12-01	高齢者係								
6	健康づくり推進事業	保健福祉課	手法改善	健康ポイントは、前年度のアンケート結果から重点テーマ及びアンケート項目を設定し、健康意識の向上を目指している。引き続きアフターコロナにおける健診(検診)の受診や食生活の改善、運動の実践による住民の健康づくりや疾病予防を支援し、健康寿命延伸を目指していく。健康ポイント管理シートのアンケートによる健康づくりの行動変容への働きかけを継続すると共に、健診受診の継続ポイントを新設する。	健康ポイント事業の管理シートのアンケート内容を変更し、町の健康課題に合わせた設問により健康意識の向上を図っている。また、健診受診の継続ポイントの新設による受診勧奨ができています。	手法改善	健康づくり計画(第3次)策定に係る予算を計上する。健康ポイント事業は、健康啓発、健康意識の底上げのため健康づくりの支援として事業を継続する。	3,557	2,784	△773
	04-01-05-10-01	保健予防係								

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 保健福祉課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和5年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた上での令和6年度の進捗状況 (目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での 令和7年度当初予算に対する考え方		R6年度 予算額	R7年度 予算額	増減
	事業コード	係名	総合評価	説明						
7	「ハイム太白」の運営(施設介護サービス事業)	保健福祉課	手法改善	地域の中で唯一の公設公営の施設としての役割が増えており、これに対応できる人材の確保、設備の維持など適切な施設管理と効率的で効果的な事業運営に引き続き努めていく必要がある。入所者の手続きの中心となる生活相談員には入退所に係る事務に専念できるように業務全般の分担を見直す。	効率的で効果的な事業運営を推進する上で、料金収入の確保が求められる。そのため、介護報酬の適切な事務処理、隙間ない利用者の入所事務に注力を傾け、実践している。	手法改善	空床を減らすことが料金収入の確保に繋がるため、利用希望者が少ない短期入所生活介護サービスの定員を減らし、指定介護老人福祉サービスの定員を増やす。また、適切な事業運営を維持するためには、全職員が共通の認識と意識を持つことが必要であり、限られた予算の中で施設として優先すべきことを見極め、予算措置を行った。	130,902	137,091	6,189
	特別養護老人ホーム事業特別会計	ハイム太白								
8	(新)障がい者計画等策定業務	保健福祉課	廃止	計画策定を進めるうえで、関係団体や専門家等委員を広く募り、策定委員会を開催した。また、障がい者(児)の皆さんへのアンケートやパブリックコメントを実施し、計画策定が完了した。						0
	03-01-02-18-01	福祉係								
9	(新)高齢者福祉計画策定事業	保健福祉課	廃止	前年度のアンケート調査、諏訪広域連合第9期介護保険事業計画を踏まえ、第10次下諏訪町高齢者福祉計画の策定が完了した。						0
	03-01-03-10-01	高齢者係								
10	新型コロナワクチン接種事業	保健福祉課	廃止	令和3年3月から開始となった事業だが、令和5年度で特例臨時接種としての接種は終了。接種を希望する対象者への接種は実施できた。令和6年度からは、65歳以上の定期接種となるため、本事業は廃止とする。						0
	04-01-04-12-01・14-01	保健予防係								

〈令和5年度事務事業評価シートから転記〉

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 産業振興課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和5年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた上での令和6年度の進捗状況(目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での令和7年度当初予算に対する考え方		R6年度予算額	R7年度予算額	増減
	事業コード	係名	総合評価	説明						
1	移住交流総合拠点整備事業	産業振興課	拡充	移住定住促進調査委員会の検討結果を踏まえ、旧矢崎商店を登録有形文化財文化財に登録し、歴史的・文化的価値を損なわずに移住交流拠点として活用する方針をまとめた。当委員会は、この成果をもって活動を終えたため、令和6年度の事業活動成果の指標を更新し、事業内容の住民理解及びPRに注力し、着実な事業推進を図る。	旧矢崎商店を、国の登録有形文化財に登録して活用する方針により、信州大学の価値づけ調査や、長野県建築士会(ヘリテージマネージャー協議会)による文化財としての価値を損なわない活用方法の検討等、産・学・官による検討を進め、令和7年度中の国の登録有形文化財の登録、及び実施設計を目指している。	拡充	旧矢崎商店の価値づけ調査及び、耐震検討結果を踏まえた実施設計により、令和8年度工事、令和9年度の施設供用開始を見込む。	4,006	7,350	3,344
	07-01-05-20-01	商工係								
2	労務対策事業	産業振興課	拡充	若者の都市圏の大企業への就職願望が高く、地方の中小企業の人材確保が年々難しくなっているため、令和6年度は新たに「奨学金返還支援補助金」を開始し、企業の雇用促進支援を継続して行うとともに、確実な人材確保による生産性向上を図り、地域経済の活性化につなげていく。	「奨学金返還支援補助金」については、町内で補助金返還支援を実施している事業所はなく、当該補助金の整備により労働環境の整備を促していく意図を意図して制度設計した。現在までに当補助金の利用実績はないが、商工会議所や労務対策協議会を通して、町内事業所に周知を図っていく。	現状維持	中高年等雇用促進奨励金については、10年以上利用がないため、実情に合わせて予算を減額したが、町内事業所での奨学金返還支援補助金等他の支援制度も含めてより一層の周知を図るとともに、労務対策協議会と連携して、就職相談会の実施等により人材の確保を促進する。	2,055	1,971	▲ 84
	05-01-01-10-01	商工係								
3	博物館の維持管理	産業振興課	拡充	当面は不具合箇所の早期改善に努めるとともに、今後の改修に向けて優先順位等を検討していく。令和6年度は、館内の劣化箇所について修繕を実施する。	今年度は、博物館内のエントランス天井、展示室壁面、ライトコートタイルの劣化箇所を修繕している。	現状維持	博物館の玄関天井塗装、外壁塗装など、館内外の劣化箇所について修繕を実施する予算措置を行いたい。	12,435	10,567	▲ 1,868
	07-01-06-10-01	文化遺産活用係								
4	星ヶ塔ミュージアムの維持管理	産業振興課	拡充	観光振興局による星ヶ塔遺跡ツアーやその宣伝効果によって星ヶ塔遺跡への関心が全国的に高まっているので、この機会を捉えて、より多くの方に星ヶ塔遺跡を知っていただき、遺跡の魅力を感じ取ってもらえるように、展示解説の更新や展示品のリニューアルなどの事業展開を図っていく。	遺跡発掘調査のアナログ写真をデジタル化し、映像化したものをデジタルサイネージで公開する事業を進めている。写真のデジタル化は7割完了し、デジタルサイネージを設置する展示室のリニューアルについて展示業者と協議を進めている。	縮小	星ヶ塔ミュージアムの活用を推進するため、展示の更新や、常時展示解説ができる専門の職員を配置する予算措置を行いたい。R6年度にデジタルサイネージ設置事業が完了したため、予算規模は縮小を見込む。	9,581	3,529	▲ 6,052
	07-01-07-22-01	文化遺産活用係								

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 産業振興課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和5年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた上での令和6年度の進捗状況 (目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での 令和7年度当初予算に対する考え方	R6年度 予算額	R7年度 予算額	増減	
	事業コード	係名	総合評価	説明						
5	しごと創生推進事業	産業振興課	手法改善	令和6年3月で期間満了により入居者が全員退去したことを期に、入居者の募集要件やサポート体制等を整えたうえで、令和6年度から募集を再開する。テレワーカーも入居できるよう要件を拡大するほか、「お試し入居期間」の設定や丁寧なヒアリング等で入居者サポートの充実を図る。	入居資格に「テレワーカー」も含め、他地域と当町の2拠点で生活する方が居住できるよう要件を拡大した。10月末現在3名の入居者が生活しているが、いずれも専門分野で実績のある方々であり、既に事業を立ち上げている。彼らの人脈で新たな入居者希望者を募っており、多様な人材によるホスピタリティの運営が期待されている。	現状維持	実情に合わせて、事業協力者謝礼や事業用資材代の見直しによる予算の効率化を図った。入居者と地域住民との交流の機会を創出し、当町との結びつきを強めていただく。 また、入居者については書類審査や面談を確実に実施し、まちづくりに資する方を確実に呼び込んでいく。	2,726	2,112	▲ 614
	07-01-05-14-01	商工係								
6	勤労者福祉対策事業	産業振興課	手法改善	岡谷・下諏訪地域は中小・零細企業の集積地であり、企業ごとに勤労者の総合的な福利厚生メニューを用意することが難しい。本施策により勤労者が働きやすい環境を整え、中小企業の振興及び地域社会の発展を図るため、継続して(一財)諏訪湖勤労者福祉サービスセンターの会員獲得に努めていく。	(一財)諏訪湖勤労者福祉サービスの会員獲得を図るため、HPや広報による周知等を実施し、若干ではあるが会員の増加につながったが、まだ十分とはいえない。引き続き粘り強く周知し、会員の減少に歯止めをかけていく。	現状維持	R6に続き、(一財)諏訪湖勤労者福祉サービスの会員獲得のため、HPや広報による周知や、企業訪問による事業内容の説明を実施するとともに、勤労者生活資金融資制度等を通して、勤労者の福祉向上を図る。 なお、当該制度の預託額は、融資実績を勘案して減額したが、事業実施に対して十分な預託額を確保している。	31,418	23,454	▲ 7,964
	05-01-01-12-01	商工係								
7	しもすわ今昔館おいでの管理運営	産業振興課	手法改善	施設の維持管理においては、老朽化した建物・設備を都度改修していく必要がある。今後も時計作り体験や埋蔵文化財といったコンテンツを高付加価値化することで、特色ある体験型施設として、観光客の誘致誘客を図る。売上目標を達成するために、事前の営業活動や新たなお客様に対する情報発信の強化を図る必要がある。	観光客に魅力的な施設を目指して、儀象堂については、収益のメインとなる時計づくり体験について、学習旅行を取り扱う旅行会社への法人営業を強化している。また、インバウンド旅行者を対象とした高付加価値な時計作り体験の提案も行っている。建物の老朽化が激しいため、最低限改修することが必要となっている。	現状維持	時計作り体験は、個人・団体旅行者に好評であるが、新たな顧客獲得に向けて体験内容の見直しを行っている。建物の老朽化に伴う経費(エレベーター修繕、PCB廃棄物処分等)が必要なため、必要なものから優先順位をつけ対応をする。	10,743	11,758	1,015
	07-01-03-14-01	観光係								

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 産業振興課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和5年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた上での令和6年度の進捗状況(目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での令和7年度当初予算に対する考え方		R6年度予算額	R7年度予算額	増減
	事業コード	係名	総合評価	説明						
8	伏見屋邸の維持管理	産業振興課	手法改善	街道歩きを楽しむ観光客の増加に期待しながら、展示会などの回数を増やすなど、多くの方に喜ばれる事業を展開していく。	上半期の入館者数は4,443人で、前年度を162人上回る数値となっている。サポート倶楽部による展示やイベントの活動が行われており、賑わいが戻ってきている様子がうかがえる。	現状維持	一年を通してサポート倶楽部が活発に活動できるよう予算計上をしたい。	1,974	3,719	1,745
	07-01-06-22-01	文化遺産活用係								
9	今井邦子文学館の維持管理	産業振興課	手法改善	コロナの影響が収まらない状況で入館者が伸びなかったが、短歌がブームになっていることもあるので、常設展のリニューアルや、企画展などの開催を検討し、短歌ファンはじめ多くの方に喜ばれる事業を展開し、入館者増を図っていく。	上半期の入館者数は773人で、前年度を150人下回る数値となっており、減少傾向が続いている。12月～2月の閑散期は平日休館として経常経費の削減に努める。昨年度開始した「今井邦子文学祭」は今年も好評であり短歌や文学のファンに喜ばれる事業となっている。	現状維持	管理費の削減を図るため、冬季の平日休館を続ける予算措置とした。好評を得ている「今井邦子文学祭」は引き続き開催予定であり、講師謝礼等の必要な経費を予算計上したい。	1,828	1,898	70
	07-01-06-20-01	文化遺産活用係								
10	柿蔭山房公開活用事業	産業振興課	縮小	令和4年度は土日祝日に公開していたが、入館者数が少なく、プラス方向への伸びが期待できないことから、令和5年度は日曜日だけの公開とした。入館者が非常に少ない状況であるため、日曜日の定期公開を廃止し、見学希望の団体などへの随時公開のみの対応をしていく。	本年度は見学希望の団体等に対して随時公開することとしてしているが、上半期は希望者がなかった。文化財としての建物の維持のために茅葺屋根の燻蒸を実施している。また、庭の維持のために定期的な除草を行っている。	現状維持	令和7年度も希望者への随時公開として、文化財の価値を損ねないように建物や庭の維持管理に努めていく。	492	517	25
	07-01-07-16-01	文化遺産活用係								
11	(新)プレミアム付商品券発行事業支援業務	産業振興課	廃止	長期化する新型コロナウイルス感染症や、エネルギー・食料品価格等の物価高騰に係る緊急経済対策として令和5年度限定で実施されたため。						0
	07-01-02-12-01	商工係								

〈令和5年度事務事業評価シートから転記〉

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 建設水道課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和5年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた上での令和6年度の進捗状況 (目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での 令和7年度当初予算に対する考え方		R6年度 予算額	R7年度 予算額	増減
	事業コード	係名	総合評価	説明						
1	国道20号バイパスの建設促進	建設水道課	拡充	下諏訪岡谷バイパス第1工区は、令和6年8月に(仮称)山田トンネルが竣工予定となっており、また令和6年中に砥川本線橋建設のための仮橋の一部が完成する予定となっている。諏訪バイパスは、一部調査中区間(4.7km)となっているため建設促進期成同盟会とともに早期全線事業化及び早期完成に向けた活動を行っていく必要がある。	下諏訪岡谷バイパス第一工区では10月末に山田トンネルの掘削が完了し、引き続き舗装等工事に着手している。一方起点部では砥川仮橋の設置工事を実施しており年内に本年度事業分が完成する予定となっている。諏訪バイパスの事業化区間においては、地質調査、施工計画等検討業務、橋梁設計が実施されるなど着実に事業を進めていただいている。また町独自の取り組みとしてバイパス事業への理解を深めてもらうため、10月29日から11月5日まで「国道20号下諏訪岡谷バイパス・諏訪バイパス展」を開催した。	拡充	諏訪バイパスの事業化区間で行っている測量及び地質調査結果の住民説明にあたり、図面等の説明資料を諏訪市と合同で作成するため所要額を新規計上した。また、諏訪バイパスの早期全線事業化に向け、建設促進期成同盟会より中央要望を2日間実施したいとの意向を受け、要望活動経費を増額計上した。引き続き国や県、各地区と調整を図りながら、着実に事業を推進していく必要がある。	1,108	1,919	811
	08-04-04-10-01	関連調整係								
2	都市計画道路3・4・12号赤砂東山田線整備事業	建設水道課	拡充	事業計画説明会及び用地説明会が開催され、また境界立会が実施されるなど大きく動き出している。今後、物件調査を経て事業用地譲渡のための個別交渉に移っていく。早期の完成を目指し、長野県と調整をとりながら着実に整備を進めていく。	現在街路事業区間では、道路詳細設計、地質調査、取付道路設計及び物件調査が行われており、道路事業区間では、下諏訪岡谷バイパス接続部の橋梁設計及び物件調査が行われている。また9月には「整備事業に係る進捗状況・用地補償説明会に係る地権者説明会」を開催し、県とともに事業に対するご理解とご協力をお願いした。	拡充	令和7年度は事業用地取得及び道路新設工事に着手していくことから県事業費が大幅増となり地元負担金も増額となっている。また、赤砂東山田線新設に伴い、残地のうち町事業地として活用することができる用地を取得するための用地購入費を新規計上した。今後町事業として整備を行っていく箇所が明確化されてくることから、県の事業進捗に併せながら環境整備を行っていく必要がある。	89,889	114,141	24,252
	08-04-06-10-01	関連調整係								
										0

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 消 防 課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和5年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた上での令和6年度の進捗状況 (目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での 令和7年度当初予算に対する考え方		R6年度 予算額	R7年度 予算額	増 減
	事業コード	係名	総合評価	説明						
1	消防団にかかる費用	消防課	拡充	災害発生時には、地域における消防団員の役割は大きい。 令和5年度には数年間中止していた各種訓練が再開された。地域の安心・安全を守るため、引き続き、訓練、装備品等の充実を図り有事に備えたい。	消防団車両更新計画に基づき更新する小型動力ポンプ積載車は2月に納入。	拡充	消防力強化のため、車両更新計画に基づき第7分団の小型動力ポンプ積載車を更新したい。 劣化の激しい屯所は計画的に改修する。	48,439	52,648	4,209
	09-01-02-03,09-01-02-05,09-01-02-10,09-01-03-12	庶務係								
										0
										0
										0

〈令和5年度事務事業評価シートから転記〉

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 教育こども課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和5年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた上での令和6年度の進捗状況(目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での令和7年度当初予算に対する考え方		R6年度予算額	R7年度予算額	増減
	事業コード	係名	総合評価	説明						
1	中学生海外研修事業	教育こども課	拡充	令和5年度は、久しぶりに12名の中学生の参加で事業の実施ができた。令和6年度からは、「中高生海外研修事業」として対象を高校生まで広げて実施予定。また、場所をニュージーランドからオーストラリアに変更。そのため、事業の安全性、妥当性を判断するため町長を始め5人での事前視察を行う。	中高生海外研修事業として、中学生12人、高校生4人をオーストラリアに派遣することが妥当か事前視察を行い、決定した。現在、参加者の抽選が終わり、事前説明会を実施し、事前研修を実施している。	縮小	参加人数は中学生12名、高校生4名の計16人にて実施予定。事前視察はR6年度のみの実施であることから、R7年度の事業の予算は減額となっている。	12,202	7,440	▲ 4,762
	10-03-02-36-01(10-01-02-18-01へ)	教育総務係								
2	研修の家管理運営	教育こども課	拡充	県内でも無料でキャンプを行える数少ない施設の一つであり、町民のみでなく、県内外の方からご利用いただいている。コロナ明けから利用者が増えてきているが、施設の老朽化が懸念されるため、事故のないよう計画的に施設の維持管理に努める必要がある。	令和6年度においては、研修の家の過去からの不具合箇所である、ウッドデッキ・屋外シャッター・電気設備の最低限の修繕を行うこととし拡充となったが、これらについては閉園となり利用者がいなくなる11月に工事を行った。またキャンプ場利用者については、若干の減少がみられたが、ソロキャンパーが増となるなど利用者自体は好調を維持している。	縮小	令和7年度については、消防設備の老朽化対策として修繕費を計上しているが、令和6年度程の修繕規模とならないことから縮小を見込んでいる。また、これと並行して令和7年度からは研修の家老朽化に伴いキャンプ場を含めて今後のあり方について検討を開始してまいりたい。	2,586	1,894	▲ 692
	10-04-02-14-01	子育て支援係(R6～保育係)								
3	生涯学習・社会教育の推進	教育こども課	拡充	アフターコロナを踏まえた「学び」の再開と社会教育関係団体の活動の活性化を継続して支援していく。支援の手段として、歴史文化遺産補助金の認知度が上がるよう、周知普及を図るとともに、社会教育委員会で制作した星ヶ塔遺跡の紙芝居の活用を通じて当町の魅力を伝えていく。	歴史文化遺産事業補助金の活用申請者は2件(R6.10.31現在)。コロナ禍も過去となり、分館を含めた各種団体の活動も戻ってきているが、本補助事業の申請にまでは結び付いていない。 ・分館：1館(4区) ・下諏訪みらい塾デジタルアーカイブ班	現状維持	<ul style="list-style-type: none"> ・現在行っている活動等の継続 ・二十歳を祝う会の記念品に郷土の銘菓を加えることで、故郷回帰のきっかけとする事の継続(3年目) ・令和7年度から教育支援強化のため教員OBの会計年度任用職員を教育総務係に集約するとしたことに伴い、当係の当該職員2名が所管替えとなったため対前年度比で大幅な減少となった。 	8,835	2,961	▲ 5,874
	10-04-01-05-01・12-01	生涯学習係								

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 教育こども課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和5年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた上での令和6年度の進捗状況(目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での令和7年度当初予算に対する考え方	R6年度予算額	R7年度予算額	増減	
	事業コード	係名	総合評価	説明						
4	総合文化センターの運営管理と自主事業	教育こども課	拡充	利用者にとって安全で、運営者にとって安心して運営ができるようにするため、大規模改修を実施する。リニューアル後を見据え、新たに設置した企画運営協議会との協働により、利便性を高め、誰もが文化芸術に親しめる施設運営を検討していく。加えて、自主事業の企画力不足は深刻であることを念頭に、協働により事業企画及び開催を検討していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・大ホール天井脱落防止対策等改修工事を実施中 ・小ホール及びもみの木モール天井耐震化等改修の「実施設計(修正・追加)」を実施中(11月より一般照明LED化改修を追加) ・企画運営協議会を4回開催(客席色の検討・予約や使用時間区分など利用方法の検討) 	現状維持	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業は、例年どおりの事業を行っていく。 ・小ホール等の改修費用は、昨今の物価高騰や人手不足などが影響し、8月の実施計画時比で約3億円増加。 ・改修工事は、安全性確保のため、技術力に対する信頼性を確保した上で適切な施工を行う。 	938,070	934,612	▲ 3,458
	10-04-06-10-01・12-01	生涯学習係								
5	オリンピック交流継承事業	教育こども課	拡充	イタリアとの交流についての折衝・調整、検討を進めることができたため、今後具体的な連携に向けた取り組みを推進していく。	町内で東京オリンピック事前合宿を行ったイタリアとの交流継承事業として、委託する電通を通じて、ポート練習場、競技場を保有する自治体と交流ができるようイタリア各関係諸機関との均衡、調整を進めている。	拡充	町理事者等の渡航費等を予算措置し、現地訪問を行い、イタリアの自治体等との交流の機会の確保を目指すなど、オリンピックレガシーの継続を講じていきたい。	1,000	4,400	3,400
	10-05-01-10-01	スポーツ振興係(R7～総務課企画係)								
6	子育てふれあいセンター事業	教育こども課	手法改善	子育て親子や高齢者がふれあえる場所として、引き続き事業を行っていく。感染予防対策には引き続き配慮のうえ、制限の緩和、見守り・相談対応の充実により安心して利用できる体制を維持する。利用者のニーズに合わせて部屋の利用制限や利用時間をさらに検討し、運営につなげる。	感染対策として制限していたランチルームの利用を再開した。上半期の利用者数はほぼ前年度並みとなっている。	現状維持	感染対策に配慮したうえで、これまでの利用制限を緩和し、利用者数は回復傾向。少子化傾向を踏まえ、現状の利用者数を維持できるよう事業を継続する。予算の大幅な増額は主に職員報酬単価増額によるもの。	12,104	14,648	2,544
	03-02-06-10-01・12-01・14-01・16-01	子育て支援係(R6～こども家庭相談係)								
7	健康運動支援事業	教育こども課	手法改善	指標としている、健康スポーツゾーンを活用した「みずべフィットネス教室」については、町民のニーズを把握したうえで、講座内容を見直すなど手法の改善が必要である。	健康スポーツゾーンを活用した「みずべフィットネス」をはじめ、各種の講座を開催している。内容についても、これまでの実施内容をもとに受講者のニーズにより見直しを行い、受講の拡大に努めている。	現状維持	町職員(健康運動指導士)に加え、健康サポートが担当する運動講座を開催するための謝礼、外部委託による教室等を開催するための委託料について予算措置を講じ、講座のバリエーションを広げることで幅広い年齢層の運動機会の増進を図っていきたい。	2,607	2,628	21
	10-05-04-14-01	健康サポート係								

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名： 教育こども課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和5年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた上での令和6年度の進捗状況(目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での令和7年度当初予算に対する考え方		R6年度予算額	R7年度予算額	増減
	事業コード	係名	総合評価	説明						
8	スポーツの振興	教育こども課	手法改善	令和5年度より新たに策定した「第3期下諏訪町スポーツ推進計画」に基づく施策展開の必要があるため、手法改善としており、引き続き現状施策に係る経過を確認していくと共に、新たな参加者の開拓も必要と考える。	バレーボールのスポーツ教室を契機にVC長野トライデンツとのホームタウンパートナー協定が締結されるほか、3年ぶりに町民スポーツ祭が開催されるなど、町民がスポーツに触れる機会を増やすことが出来ている。	コスト低減	R7年度は町スポーツ推進員の改選となるが人選も含め、必要な予算措置を講じていく。また全国市町村交流レガッタはR7は兵庫県(R6は鹿児島県)での開催となり、継続して選手の遠征費等精査しながら必要な予算措置を講じていきたい。	11,977	11,730	▲ 247
	10-05-01-05-01・10-01	スポーツ振興係								
9	スポーツ施設の整備充実	教育こども課	手法改善	体育施設利用者数は目標値以上とはなったが、計画的に体育施設の整備・更新等を進めているものの、廃止や大規模改修が必要な施設について、公共施設等総合管理計画に基づき、計画的な改修・除却を行う必要がある。また、継続的な維持管理を実施していくためにも民間を活用した指定管理者制度の導入など運営方式を含めた幅広い研究が必要となる。	今年度は、老朽化に伴い、昨年一部損壊したテニスコート防球ネットの北側及び東側の改修工事を宝くじ助成金を活用して下半期で実施。	拡充	スポーツ施設の老朽化に伴い、要修繕、改修箇所が増えてきており、老朽化が著しい、体育館正面玄関階段の修繕を行う。また未来議会で指摘のあったスポーツ施設のAED設置場所について、AQUA未来とスポーツコミュニティセンターへ配備のAEDは、専用収納ボックスを設置し、非常時に備えていきたい。	27,873	30,429	2,556
	10-05-02-10-01、10-05-03-05-01・10-01	スポーツ振興係								
10	宇宙教育事業	教育こども課	廃止	宇宙航空研究開発機構(JAXA)より、H20年に結んだ宇宙教育活動に関する協定書の解除の申し出があり、それを受けることとなったことから、当事業に関しては廃止とする。						0
	10-02-02-28-01、10-03-02-30-01	教育総務係								
11	(新)子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	教育こども課	廃止	事務事業名としては前年度と同一ではあるが継続事業ではなく、本事業は令和5年度限りで行われた国、県の事業であり、町要綱も令和5年度限りの事業として定めたもの。						0
	03-02-05-18-01・22-01	子育て支援係(R6~こども家庭相談係)								

事務事業評価結果の当初予算への反映状況調書

課名: 教育こども課

(単位:千円)

番号	事業名	課名	令和5年度事務事業評価結果		前年度の評価結果を踏まえた上での令和6年度の進捗状況 (目標達成率、途中経過等)	左記の進捗状況を踏まえた上での 令和7年度当初予算に対する考え方	R6年度 予算額	R7年度 予算額	増減
	事業コード	係名	総合評価	説明					
12	(新)全国市町村交流レガッタ等開催事業	教育こども課	廃止	ホートサミットでは、協議会加盟31市町村中26市町村、66名が参加。交流レガッタでは、111クルー(内、当町からは12クルー)のエントリー、延べ935名が参加したほか、大会当日のおもてなしブースには多くの町民も訪れるなど、町内外の多くの皆さんに一つのイベントとして楽しんでいただいた。なお、協議会加盟市町村持ち回りの大会のため(R6年度開催地:鹿児島県薩摩川内市)廃止。					0
	10-05-01-05-01	スポーツ振興係							
13	(新)オリンピック教室開催事業	教育こども課	廃止	本事業は町制施行130周年記念事業と位置付けられ実施した事業であるため、次年度への継続事業とはならないため廃止。					0
	10-05-01-10-01	スポーツ振興係							
14	(新)体育館非常用電源改修事業	教育こども課	廃止	単年度事業であり、年度内に改修工事は完了したため廃止。					0
	10-05-02-10-01	スポーツ振興係							

〈令和5年度事務事業評価シートから転記〉